

普及活動情勢報告（令和5年10月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

令和6園芸年度の新たな目標達成に向けて ～キュウリ新規就農者のカウンセリング～



目標値について確認！

普及所では9月下旬～10月上旬にかけて、高知市春野町キュウリ新規就農者9名の令和6園芸年度の新たな目標について現地で確認しました。

月別目標収量等の具体的な数値目標や前作の課題解決策（病害虫対策、品種の変更等）を含む経営改善について、農家と確認しながら設定できました。新規就農者が気持ちも新たに意欲的に取り組む姿勢が印象的でした。

普及所は個々の新規就農者が目標達成できるように支援チーム員と連携しながら現地指導を行っていきます。

技術的課題の解決に向けて ～令和5年度高知市営農技術会議総会・報告会の開催～



研究成果の発表

10月6日、高知市たかじょう庁舎において、令和5年度高知市営農技術会議総会及び報告会が開催され、農業者及び関係機関37名が参加しました。

総会では、令和4年度及び5年度の会議の運営について事務局から報告があり、全ての議案が承認されました。報告会では、令和4年度の研究課題について、園芸、農産、畜産の各部会担当者から研究成果の発表と審査員による審査が行われました。

その結果、「ユリの八重品種における前処理剤の違いが開花および日持ちに及ぼす影響」が最優秀研究事業として表彰されました。

普及所は、研究課題の設定から調査の実施、成果のとりまとめについて、JA担当者と連携して実施しました。

普及所は、今後も関係機関と連携して現地における技術的課題の解決に向けた研究に取り組み、営農技術会議の活動を支援していきます。

販売額向上に向けて ～「鏡むらの店」チーム会～



チーム会の様子

10月11日、鏡むらの店万々店で、直販店組合役員、高知市鏡地域振興課、高知市地域本部と販売額向上等のためのチーム会を行いました。

普及所が作成した8、9月の野菜や花き・花木などの販売実績の分析と令和4年10月から定休日（月曜日）を設けたことによる販売実績への影響等を確認しました。定休日を設けたことで月曜日の販売実績がなくなりましたが、他の曜日への影響はほとんどありませんでした。役員からは「人件費も含めた分析を役員会で行ってみたい」という意見が出ました。

普及所は、今後も関係機関と連携して鏡むらの店の販売額向上に向けた取組の支援を行っていきます。

安全安心な農産物の出荷に向けて ～出荷場 GAP 点検～



出荷場内を点検

10月13日、JA 高知県春野営農経済センター販売課と、出荷場 GAP チェックシートの点検項目に従い、出荷場内の実践状況の確認、点検を行いました。

今回の点検では、消毒マットの設置、出荷箱の衛生管理、機器の修理備品の保管管理についての改善点を共有し、次回の点検までに見直しを行うことになりました。また、きゅうりの出荷が本格化する11月に、出荷場作業員向けの GAP 研修会を行う予定です。

普及所は、今後も JA と連携し、安全安心な農産物の出荷に向け取り組めるよう、活動を支援していきます。